

# 函館・大沼・噴火湾ルート

北海道

## 地域のねらい

### テーマ：人と人をつなぐ道

・基点となる函館市には、函館空港、函館港、JR函館駅などのゲートウェイ機能があり、年間約500万人の観光客が訪れています。この条件を生かして、連泊したくなるようなメニューを増やし周遊性を高めていき、観光活性化につなげています。また、景観・自然・歴史（縄文遺跡等を含む）・文化・レクリエーションにおける住民主体の活動を通して、おもてなしの心を醸成しています。

## 活動エリアと地域資源

### ～活動エリア～

・南北海道の主要な交通拠点・観光拠点を基点とした周遊性を考慮し、函館都市圏を中心とした2市4町の国道・道道を中心としたエリア。

### ～地域資源～

・函館山と西部地区の歴史的街並みに代表される都市景観、大野平野などに代表される農村景観、国道278号沿いのコンブ漁に代表される漁村景観から、北海道遺産にも指定されている内浦湾沿いの縄文遺跡群などの多彩な景観資源・地域資源までを幅広く網羅しています。また、本地域においては、景観・自然・歴史（縄文遺跡等を含む）・文化・レクリエーションにおける住民主体の地域活動や交流が盛んに行われています。

## 地域の活動推進体制

「ルート運営代表者会議（活動団体29団体）」

「ルート運営行政連絡会議（国土交通省、北海道、関係市町村他）」

## 地域資源、活動内容



育成牧場  
(八雲町)



シーニックdeナイト  
(七飯町大沼)



シーニックバスツアー  
(函館市豊崎F遺跡)

八雲町

森町

鹿部町

七飯町

北斗市

函館市

恵山



きじひき高原より見た駒ヶ岳  
(北斗市)



ホーストレッキング  
(森町)



赤松こも巻き  
(七飯町)



八幡坂  
(函館市)



啄木小公園  
(函館市)